

第6号様式（第5の2関係）

議 事 概 要

会 議 名	令和7年度第3回薩摩川内警察署協議会
会 議 日 時	令和8年2月25日（水曜日）午後2時～午後4時
会 議 場 所	薩摩川内警察署3階大会議室
出 席 者	1 警察署協議会 会長以下 11人 2 警察署 署長以下 10人
<p>（会議の概要）</p> <p>1 開式のことば</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>3 署長あいさつ</p> <p>4 協議</p> <p>(1) 管内の治安情勢と業務推進状況について</p> <p>(2) 委員からの意見・要望</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>● 宮崎バイパスの大型施設側の交差点に信号機は付かないのか。危なく、見えにくいいため、いつ事故が起こるか心配だ。</p> </div> <p>（回答）</p> <p>・御指摘の交差点は、令和7年6月に四差路の交差点として開通しており、県道36号側が優先となり、バイパス側が従道路として一時停止の規制がかかっている。開通後の同交差点では、追突事故が2件、追越時の事故1件の計3件の物損事故が発生しているが、交差点での出会い頭事故や歩行者事故は発生していない。今後も、信号機の設置は、交通状況や交通事故の発生状況等を勘案しながら、交通の安全と円滑という道路交通法の目的に合わせて対応していく。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>● 交差点で車を右折する時、対向車が途切れず、焦ることがある。交差点によっては、時差式信号や右折矢印信号が設置されているが、設置に基準はあるのか。</p> </div> <p>（回答）</p> <p>・時差式信号機は、上り方向又は下り方向のいずれか一方の右折交通量が、他の方向からの交通量より著しく多い交差点で使用され、右折矢印信号機は、右折需要が多く、青信号表示で裁くことができない場合等に使用される。時差式信号や右折矢印信号による信号制御については、いずれも警察庁から運用指針に関する通達が発出されており、通達に示された指針に基づいて運用を行っている。要望を受けた際も、この指針に従って設置を検討することとなる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>● 西向田町の国道3号からスーパーまでの市道が、以前は時間規制の車両進入禁止又は車両通行止めとなっていたが、今は解除されたのか。</p> </div> <p>（回答）</p> <p>・御指摘の箇所は、以前、歩行者用道路の交通規制がかかっており車両の通行は禁止されていたが、令和6年8月に交通規制を廃止する公安委員会の意思決定がなされ、その後、標識撤去などの工事を経て、現在は車両通行が可能となっている。</p>	

- 川内南中学校近くの交差点は登下校時間帯にしばしば渋滞が発生しており、歩車分離式信号に変更できないか。

(回答)

・御指摘の場所は、川内南中学校前の道路の南側、宮崎交差点の東側に位置する四差路信号交差点となっている。
交差点は、中央線のない道路同士が交差しており、横断歩道が4か所設置されている。
横断歩道を渡る歩行者により、右左折できない車両を先頭に渋滞が発生していると思われる。
御要望の歩車分離式信号についても、通達により設置や運用に関する指針が定められており、この指針に従って検討されることになる。
また、別の方法として、信号機のプログラムされている時間を変更し、歩行者信号が赤になった後、車両用の信号が黄色に変わるまでの時間を延ばす方法がある。
渋滞状況や歩行者の横断状況等を確認しながら、歩車分離式の導入や信号プログラムの変更を検討していきたい。

- 県道341号城上小学校付近から平成中学校下の信号付近までの道路状況が非常に悪い。
大型車の通行による振動、降雨時の冠水による水はね等があり、通学路でもあるため、急ぎ調査をお願いします。

(回答)

・御意見の場所は、高城町方面から城上町方向に抜ける県道吉川川内線のうち、平成中学校入口の信号交差点から城上小学校前までの区間である。
同区間について確認したところ、道路の振動音等が確認されたことから、同道路の補修等を所管する地域振興局に対し、安全対策上の意見として伝えた。

- 特殊詐欺の広報活動を強化してほしい。

(回答)

・前回の警察署協議会で出た意見を基に、皆様の御協力を得て、被害防止イベントを開催した。
また、当署や本部では、被害事例の報道発表、交番の広報誌等での特殊詐欺手口の紹介、FMさつませんだいを利用した防犯広報等を実施している。
今後も広報活動の強化に努めたい。

- プライバシーの問題はあると思うが、監視カメラの設置を増やし、犯罪の未然防止、検挙率の向上につなげてほしい。

(回答)

・監視カメラの設置は、行政機関との連携が重要と考えている。
薩摩川内市も積極的に防犯カメラを設置しているため、市の担当者との連携を強化していく。
また、一般住宅の防犯カメラ、ドライブレコーダーの普及率も高くなっているため、一般の方協力を得るなどしていきたい。

- 交番等の統廃合による警察官の数の増減はどうだったのか。

(回答)

・平成24年3月から平成31年3月までの間、交番・駐在所の新設、統廃合、管轄区域の見直しや人員等の配置見直しによる地域警察官の体制強化を推進した。

当署では、川内北交番が、平成24年3月に上川内交番、水引駐在所、城上駐在所、東郷駐在所の4施設を統合して新設、薩摩川内東交番が、平成28年3月に中村駐在所、市比野駐在所、樋脇駐在所、入来駐在所、蘭牟田駐在所、祁答院駐在所の6施設を統廃合して新設されている。

交番・駐在所の統廃合前と現在では、勤務員数はほとんど変わっていない。

5 速度取締りの指針について

6 鹿児島県警察運営重点に基づく当署の取組について

7 センノオトでのイベント結果報告（第2回警察署協議会での諮問・答申結果）

第2回警察署協議会で「うそ電話詐欺の防止対策」について諮問したところ、「複合施設『センノオト』で被害防止のキャンペーンを行ってはどうか」との答申があったことから、令和8年1月17日（土）に同所で防犯キャンペーンを行った。

防犯キャンペーンでは、警察署協議会員8名、防犯協会員、署員が連携して、うそ電話詐欺被害防止、採用関係、110番の日、改正道路交通法等の広報チラシ配布、パトカー、白バイを展示してのふれあい活動、国際電話利用休止サポートブースの開設を行った。

小さな子ども連れの家族や中高生等の来訪者からは、

- ・ 特殊詐欺被害の拡大を理解した、注意したい。
- ・ 子どもがパトカーや白バイに乗れて良かった。

などの反響があり、効果的な広報活動とふれあい活動となった。

また、薩摩川内警察署協議会会長からは「署員と共に活動できて意義あるものになった。今日のチラシは、孫の世代から祖父母にも伝えてもらえるといい。」との感想や意見があった。

8 閉式のことば

備考